

群馬県立西邑楽高等学校 学校評価一覧表 ① (平成30年度版)

羅 針 盤			方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校を好きだと感じている生徒の割合が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な生徒理解、信頼関係づくりに努め個に応じた指導により学校生活をサポートする。 ・学校行事の充実を図り、愛校心の育成に努める。 ・「羅針盤」の評価項目・具体的数値項目を全職員に周知し、自身の目標設定及び指導の指針とし、年間を通して改善に努める。 ・教育課程の見直しを通し、生徒の進路希望に応じた必修科目及び選択科目を用意し、生徒の習熟に応じたきめ細かな指導を行う。 ・専門教科の特色を活かし、各生徒の個性・能力に応じて、専門科の少人数指導を効果的に実施する。
		②各職員が「本年度の重点目標」、「羅針盤」を指針として自己目標を設定し、教育活動の改善に努めている。	
		③習熟度別授業（数学・英語）に満足している生徒が85%以上である。	
		④専門教科の授業に満足している生徒が85%以上である。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤主体的・探究的な授業への取組みを進め学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・校長による授業観察やステップアップサポート事業による教員相互の授業観察・授業研究を通して常に授業を振り返り改善を図る。 ・毎朝実施の「朝の読書」、図書館オリエンテーションLHR読書会や推薦図書リストの発行などを通して、生徒の読書習慣の確保に努める。
		⑥「朝の読書」を含め、生徒が1年間に12冊以上の本を読んでいる。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦生徒の家庭での1日の平均学習時間は、1, 2年生で80分以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習・復習を徹底させる。 ・教科間で連携して課題等を適切に課し、その提出状況を学年内で共有し組織的な指導を行う。 ・漢字検定並びに英語検定に対する生徒の意識を高めるとともに全体的な基礎学力の充実を図り、成績上位者においては応用力向上を図る。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧学年会議等において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会議の議事録等を管理職に提出することにより学年の状況の共有を化図り各生徒に応じた早い段階での対応を行う。 ・毎朝の登校時指導や日常の学校生活において、教職員からのあいさつを積極的に行っていく。 ・職員と生徒で共に考え、規律ある学校生活が送れるようにする。特に集会や委員会での呼びかけを積極的に行っていく。 ・交通安全教室と年2回の自転車点検、「交通安全だより」の発行を通じて、生徒の交通安全意識の高揚を図る。
		⑨登校時指導等を通じて、あいさつ・服装・遅刻防止に関する指導を進め生徒のあいさつができるという評価が70%以上（教職員アンケートによる）である。	
		⑩服装頭髪指導の係指導対象となる生徒が10名以下、遅刻指導該当者が年間15名以下である。	
		⑪自転車点検や事故防止啓発活動を通じて過失事故や重大事故をゼロにする。	
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬生徒の健康診断に基づく受診率が50%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の「保健だより」の発行により、健康管理に関する情報を常に発信し、家庭と協力して取り組む。 ・教育相談係を中心として、全職員への情報提供や専門家によるカウンセリングを通して、組織的な相談体制を強化する。 ・アンケートを年2回実施し、組織的に情報を共有することにより、いじめの早期発見と解消に取り組む。 ・部活動紹介や活動環境整備を通して、加入率の向上と活動内容の充実に努める。
		⑭不登校生徒の解消をはかり不登校ゼロを目指す。	
		⑮いじめの未然防止に努め、いじめ問解決率100%を目指す。	
		⑯部活動に加入している生徒が、70%以上であり、充実していると感じている生徒が70%以上である。	

	6 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	<p>⑰LHRでのいじめ防止活動に主体的に取り組んでいる生徒が70%以上である。</p> <p>⑱生徒会行事を作り上げる過程で、仲間意識をもつことや他を認めることの大切さを認識している生徒が70%以上である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止活動が身近な問題であるという認識をもたせ、主体的に防止活動へ関わられるよう指導していく。 ・生徒会行事の企画立案、準備段階において「他者とともに作り上げていく」という意識がもてるように指導を工夫する。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	<p>⑲進路関係の行事や学習が役立っていると思う生徒が70%以上である。</p> <p>⑳文化祭や送別会等の生徒会行事に満足している生徒が85%以上である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年や生徒の進路希望に応じた進路プログラムの作成により、進路学習や行事を推進し、生徒が自らの目標を適切に設定できるようにする。 ・準備段階から生徒会役員を中心として、企画・立案をさせることにより、生徒が主役となるような行事運営を進めていく。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	<p>㉑将来の職業や卒業後の進路について考え進路実現のための課題を意識できた生徒が80%以上である。</p> <p>㉒進路別講演会・大学見学・大学模擬授業などの進路行事に積極的に取り組んだ生徒が70%以上である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面談を通じて、生徒一人ひとりの進路希望を把握するとともに、進路実現のための適切な情報提供を組織的に行う。 ・進路希望に応じた内容を考え、生徒の実態に応じた行事を企画、運営する。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報を発信していますか。	<p>㉓PTA総会に参加している保護者が50%以上専門学科ガイダンスに参加している保護者が80%以上である。</p> <p>㉔オープンスクールで「学校の様子がわかった」と答えた参加者が80%以上である。</p> <p>㉕学校のwebページを各行事等が終了の都度、早い段階で更新している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会等の保護者あて通知がかならず保護者へ届くように生徒への指導を行うとともに学校HP、「PTAだより」等を通して広報活動を徹底する。 ・学校行事を中心に校内の情報を広く発信し、本校教育活動内容が地域社会の人たちへ伝わるよう努める。 ・各分掌・組織と連携し、情報を素早く収集できるような環境の整備を図り、適時に掲載していく。